

「実りある研究生生活を」—大学院研究科長 法科大学院長からのメッセージ

切磋琢磨の場 全力で進もう

経済学研究科長 黒田 彰三(新任)

経済学研究科に入学された方に心からお喜び申し上げます。

皆さんは、今はうれしいよりも身の引き締まる思いをされているのではないかと思います。大学院は厳しい研鑽の場です。若い諸君には体力と時間がたっぷりあります。そして専修大学には研究を助けてくれる教授陣と図書館やインターネット利用環境は十分整っています。これらをフルに活用して自分が目指している目的に向かって全力で進んで下さい。

大学院は高度な専門職を目指している方、博士課程に進んで学者・研究者の道を歩もうとされる方、すでに歩み始めている方、いろいろな方が切磋琢磨して勉強する場です。良き友と良き師に巡り合えることを願っています。



「無知」懼れず 研鑽を積もう

法学研究科長 高木 侃

法学研究科では本年度修士課程9人、博士後期課程2人をあらたに院生として迎えました。

皆さんはそれぞれの研究目標にむかって研鑽し、最終的に論文を提出して、学位を取得します。

さて、研究は広い教養と専門知識に支えられて、その上にピラミッドのように構築していくのが王道でしょう。しかし、この基盤のない者はテーマをひたすら掘り下げ、かつ周辺知識を吸収しながら、ようやく論文作成にこぎつけなければなりません。そのことは、先行研究にとらわれずに判例・史料等を虚心坦懐に読むことになり、自説を確立することにつながります。ですから、ときに「無知」に徹して、あるいは「無知」を懼(おそ)れず、研鑽されますよう、あえて申し上げます。



高い理想と教養 知性を持つ人に

文学研究科長 永瀬 治郎(新任)

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんはそれぞれ目的を持って大学院に入学されたことと思います。大学院は高い専門性を持つ職業人と研究者の養成を目的としています。皆さんは自らの目的を実現するために、日々研鑽を怠らず、さらには高い理想と深い教養と知性を持った人間になることを目指して努力して下さい。指導教員は研究を通して皆さんの知性向上を手助けし、職員は皆さんが研究しやすい環境を整えるため手助けします。

しかし、一番大切なことは、皆さん自身が本学の大学院生として自覚を持って、毎日、研究に励み、自らの将来の目的にかなえるような姿勢で生きていくことだと思います。

地道に、実直に、日々研究に励んでいただき、本学大学院での生活が皆さんの人生にとって有益な日々になることを願っております。



「致力専攻」の気概を持って

経営学研究科長 竹村 憲郎

晴れて大学院に入学された皆様に心からお祝い申し上げます。しかし、厳しい受験競争を勝ち抜いた学部への入学とは異なり、大学院への入学は、「目出たさも中くらいなり」というところでしょうか。皆さんは、企業、その他の職場で働く代わりに、「学問」という果てし無い未開の荒野に挑む厳しい道を選択したのです。



そうした皆さんへの歓迎の印として「致力専攻」という言葉を送ります。この言葉は、本学の創立者たちが明治13年(1880)9月に本学のルーツである「専修学校」を発足させる際に公表した「創立主旨」に「カヲ専攻ニ致サザルベカラズ」と書いたことに由来します。「力を致す」とは、「ある目標に向かって全力を尽くす」という意味です。

「致力専攻」の気概を持って、実りある大学院生活を送られることを、大いに期待しております。

最も充実する時 悔いない研究を

商学研究科長 小口 登良



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これまで幾度もこのお祝いを受けてきたことと思いますが、多分、これが最後の入学祝いとなる人がほとんどだと思います。それだけに商学研究科への入学には、強い決意をお持ちのことと思います。

博士課程はもちろん、修士課程においても自分で考え、自分で道を切り開くことが、これまで以上に求められます。苦しいこともあるでしょうが、一方で人生のなかで学習研究活動が一番充実するときでもあるでしょう。この機会を生かして、思いきり勉強して下さい。

これからの人生のあり方が、ここでの成果に大きく左右される人も多いでしょう。悔いの残らないように、勉強して下さい。

訓練と絶え間ない「知識」の習得を

法科大学院長 平井 宜雄



法科大学院に入学された皆さん、心からお祝いを申し上げます。言うまでもなく、法科大学院は、法曹養成に特化した、これまでに例のない大学院です。したがって、それぞれが多様な経歴を持っていても、皆さんが共通に目指すところは、法律家になることでしょう。

古来から法律家は、医師と並ぶ専門的職業の代表でした。それだけに、法律家として活躍するには、長期にわたる厳しい訓練と絶え間ない知識の習得とが要求されます。法科大学院での勉強はそのような過程の第一歩に過ぎません。そのことをよく自覚して、勉学に励んで下さることを強く期待しています。

名誉教授称号記授与式

専修大学名誉教授称号記授与式が4月5日、神田キャンパスで日高義博学長ら列席のもと行われ、この3月に定年退職した7氏に名誉教授の称号記が授与された。

吉家 清次 元経済学部教授(在職39年)

本田 泰治 元法学部教授(在職47年)

加藤 克己 元経営学部教授(在職44年)

櫻井 通晴 元経営学部教授(在職38年)

飯田 謙一 元商学部教授(在職25年)

松原 成美 元商学部教授(在職39年)

坂本 實 元ネットワーク情報学部教授(在職33年)



新理事長・校長決まる〈付属高〉

(4月1日付就任。任期はいずれも2010年3月31日までの3年間)



◇学校法人専修大学松戸
高校
(千葉県松戸市)

理事長 橋元 雅司氏(現学
校法人専修大学理事)



◇専修大学附属高校
(東京都杉並区)

校長 鈴木 高弘氏



◇専修大学北上高校
(岩手県北上市)

校長 高木 敬蔵氏

博士の学位 3氏に授与

専修大学から3月28日付で次の3氏に博士の学位が授与された。授与式は同日、神田キャンパスで行われた(氏名に続き、学位の種類・学位請求論文名)。

原 豊二氏
博士(文学)

「源氏物語と王朝文化誌
史」

濱口 恵子氏
博士(文学)

「Non-European Women in
Chaucer: A Postcolonial
Study」

小酒井 正和氏
博士(経営学)

「BSCフレームワークを活
用したITマネジメントの体系
化—無形の資産を重視した
ITマネジメント—」

依願退職

【1月31日付】

香山 瑞恵 ネットワーク情報学部助教授（在職4年10カ月）

【3月31日付】

川地 宏行 法学部教授（在職6年）

小林 襄治 経営学部教授（在職9年）

岡田 敦美 経営学部講師（在職2年）

在間 敬子 商学部助教授（在職5年）

小山 起功 文学部教授（在職31年）

新専任教員紹介

(敬称略) 氏名・職名・主な担当科目

【経済学部】

櫻井 宏二郎 (さくらい こうじろう) 教授 経済政策	松井 暁 (まつい さとし) 教授 経済思想
--------------------------------------	---------------------------------

【法学部】

青竹 正一 (あおたけ しょういち) 教授 会社法	時任 真一郎 (ときとう しんいちろう) 講師 健康科学論
------------------------------------	----------------------------------------

【経営学部】

西口 拓子
(にしぐち ひろこ)
講師
ドイツ語

【商学部】

安藤 英義 (あんどう ひでよし) 教授 財務会計論	小林 守 (こばやし まもる) 講師 現代ビジネス	高桑 晴子 (たかくわ はるこ) 講師 英語
-------------------------------------	------------------------------------	---------------------------------

【文学部】

神崎 繁 (かんだぎ しげる) 教授 西洋哲学史(古代・中世)	熊木 洋太 (くまき ようた) 教授 測量学	西坂 靖 (にしざか やすし) 教授 日本史特殊講義	石坂 久郎 (いしざか ひさお) 准教授 イギリス研究
------------------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------

荻谷 愛彦
(かりや よしひこ)
准教授
自然地理学概論

【ネットワーク情報学
部】

福富 忠和

(ふくとみ ただかず)

教授

コンテンツマネジメント

吉田 亨子

(よしだ きょうこ)

教授

モデリングの基礎

【法科大学院】

佐野 裕志

(さの ひろゆき)

教授

民事訴訟法I・II